

# 会 議 録

平成21年12月25日調製

審議会等名	平成21年度 第2回 三条市社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成21年11月18日(水) 19時00分～21時00分		
開催場所	三条市役所 三条庁舎2階大会議室南側	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	社会教育委員	桑原 理委員	阿部凉子委員 廣川邦夫委員
		長田美智留委員	中村保夫委員 目黒徳一委員
		横山正美委員	山田宏高委員 本山昭格委員
		阿久津文雄委員	杉野真司委員
	三条市	金子生涯学習課長	近藤生涯学習課課長補佐
		小林生涯学習係長	山田主事
	(欠席者)	棚橋正明委員	安藤正之委員
報 告	(1) 新任社会教育委員研修会について		
	(2) 中越地区社会教育研究大会について		
	(3) 新潟県社会教育研究大会について		
	(4) 関東甲信越静社会教育研究大会について		
	(5) (仮称)第二中学校区公民館建設事業について		
議 題	(1) 平成21年度社会教育・生涯学習事業の進捗状況について		
	(2) 平成22年度社会教育・生涯学習事業について		
	(3) その他		
発言内容等			
廣川議長	次第に従い、(1)「新任社会教育委員研修会について」長田委員より報告を願いたい。		
長田委員	研修会は2部構成でおこなわれ、1部はサイバー犯罪について講義を受けた。インターネットが普及した事によって、顔の見えない相手とやり取りを行う行為に違和感がなくなってきており、青少年がなりすましメールの被害にあうなど、インターネットの弊害が青少年にまで及んでおり、顔が見える地域のつながりが大事であると再認識した。2部は社会教育委員の役割と具体的方法についてのワークショップを行い、社会教育委員は地		

	<p>域の声を反映させていく大事なパイプ役であると再認識ができた。また、行動する社会教育委員として、会議だけでなく企画や提言をまとめていく動きが各地域で起きていることを知った。</p> <p>最後に、研修に参加することで色々な委員と意見交換することもでき収穫ある研修であった。</p>
廣川議長	<p>昨年行われた人権擁護委員の会議でもサイバー犯罪や携帯電話を使った虐待などの話が出ており、重要な問題となってきている。</p>
阿部委員	<p>新潟県では子どもが携帯電話を持たない事が望ましいという方向で話しをしている一方で、「携帯電話を賢く利用する子供を育てるための県民集会」を新潟県が開催しており、新潟県の子どもと携帯電話の在り方についての考え方が定まっていないように感じる。</p>
長田委員	<p>新潟県としては、携帯電話を持たせない事を前提に置きながら、子どもが携帯電話を持った際、事件に巻き込まれないようにするための集会と考えられる。</p>
廣川議長	<p>貴重な情報ありがとうございました。それでは（２）「中越地区社会教育研究大会について」阿久津委員より報告を願いたい。</p>
阿久津委員	<p>まず「社会教育法の改正と社会教育委員のあり方」についての講演があり、社会教育委員の役割は非常に幅が広いものであり、地域住民の生きがいづくり、人づくり、夢づくりをしていく事が求められているということが印象に残った。次に、各事例発表があり、午後は分散会を行った。分散会では、他市町村の社会教育委員と各地域での問題への取り組みや、今後の問題について、地域によって様々な問題があり、課題が山積していることを考えさせられ、有意義な会であった。</p>
廣川議長	<p>それでは（３）「新潟県社会教育研究大会について」本山委員より報告を願いたい。</p>
本山委員	<p>１日目は分科会、２日目は講演会が行われ、分科会では４分科会に分かれ、「地域における青少年教育」に参加した。内容としては、NPO法人魚沼伝習館の活動について話を聞いたが、青少年の体験活動は親を参加させる事が大事であると感じた。２日目はジオパークで人材育成と地域振興ということで講演を聞き、「ないものねだり」から「あるもの探し」への発想の転換が大事であると感じた。</p>
廣川議長	<p>各委員が希望の分科会に参加したわけだが、この場で発表したいことがあれば願いたい。</p>
山田委員	<p>本山委員の報告の補足として、NPO法人魚沼伝習館は里山でたんぼ等を借り受けて活動しているが、特筆すべきものとして大きな事業費があげられ、その多くが国県補助で賄われている。しかしながら、政権交代の折、</p>

	事業仕分けなどで補助金がどうなっていくのか不安な点もある。
横山副議長	長岡市では社会教育委員が公民館活動にボランティアとして参加し、レポートを作成するなど、現場に出て活動しており、会議も大事であるが、現場に出ている報告があり、感銘を受けた。
金子課長	長岡市では社会教育委員が公民館運営審議会を兼ねていることから、公民館の実践を行っているものである。
廣川議長	それでは（４）「関東甲信越静社会教育研究大会について」横山委員より報告を願いたい。
横山副議長	<p>１日目は「学びのすすめ」と題した講演を受けた。内容としては、高校大学全入の時代に入り、全体的な学力低下が起きている。この現状への対応策についてであった。講演のまとめとしては、「学び」の目的は自分を高めるものではなく、社会に役立てる事を目的としていく事が大事であるという事であった。</p> <p>２日目は生涯学習フェスティバルを見学した。様々なブースが立ち並び企業の紹介から各市町村の学びの実践などを見ることができた。新潟や、県央地域で生涯学習フェスティバルを開催する際には、フェスティバルを単独でやるのではなく、祭りや商工会のイベントなどと連携して開催することで、社会教育をより広く推進できると感じた。</p>
廣川議長	今回は生涯学習フェスティバルとの合同開催で、例年の大会とは違う形で開催されたものであった。それでは（５）「(仮称)第二中学校区公民館建設事業について」事務局より報告を願いたい。
近藤補佐	<p>平成２０年度にも一回説明しているが、委員の交代や事業も進捗していることから説明したい。</p> <p>&lt;資料により説明&gt;</p> <p>なお、太陽光パネルは平成２１年度９月補正予算で計上したものであり、公民館の来館者や市内小中学生の環境教育教材として、またPR材料として活用していく。竣工は４月上旬を予定している。</p>
廣川議長	報告を受けて質疑等あれば発言願いたい。
桑原委員	トイレについては洋式と和式のどちらを考えているのか。
近藤補佐	ユニバーサルデザインの観点から洋式を考えている。
阿部委員	多目的ホールの使用用途に音楽の練習と記載されているが、音楽発表での利用もできるか、また、ステージは備えているか。最後に、和室について、床の間はあるか。
金子課長	<p>音楽発表の場としての使用はできるが、研修室も兼ねているため、ステージは用意していない。</p> <p>次に、和室の床の間についてであるが、通常の床の間を有しているが、</p>

	デザイン上、通常の入り口正面の配置とは違い、入り口からみて左奥に配置されており、床の間からは坪庭が見える作りとなっている。
山田委員	近代和風という事ですね。
金子課長	その通りである。
廣川議長	報告事項については以上とし、議題に移りたい。(1)「平成21年度社会教育・生涯学習事業の進捗状況について」事務局より説明願いたい。
小林係長	資料を元に事業の進捗状況について説明する。 生涯学習事業としては、生涯学習推進会議の中で意見が出された「生涯学習手帳」を作成し、生涯学習の振興に資するべく事業を進めている。ボランティア養成講座は3講座を開催した。企業関係団体との連携事業では、三条警察署と市内の各団体とをつないで防犯に関する講演会等を開催した。団塊の世代対象事業では、社会教育委員からも参加してもらい地域コーディネーター養成講座をはじめとする4講座を新潟県と共催で実施している。文化振興事業としては、美術展、音楽祭などを実施した。芸術鑑賞ツアーについても順次実施している。また、平成21年度の新規事業として、レゲエという音楽ジャンルを中心に楽音祭 <sup>らくおんさい</sup> を実施し、820名の参加があった。 文化財事業としては、三条かぐら鑑賞会、縄文体験講座、文化財めぐり中心市街地歴史的建造物調査、各遺跡発掘調査などを実施した。12月以降、文化財講演会や遺跡発掘調査速報展などを予定している。
廣川議長	説明を受けて質疑等あれば発言願いたい。
中村委員	団塊の世代対象事業の地域コーディネーター養成講座について、新潟県や同市において趣旨が違うものであるが、名称が非常に似通った事業が実施されており、一見しただけでは違いが分からなかった。市民に対して、より分かりやすい事業周知方法や事業名称の検討に心がけていただきたい。
山田委員	部局間で情報の共有を図ることで解消される。また、行政と地域を結ぶ中間に存在している社会教育委員も同様に情報の共有が図れるようにしていただきたい。
廣川議長	情報の共有は難しいのか。
金子課長	生涯学習事業について、以前は生涯学習課や公民館が中心となって実施していたが、現在様々な部局や機関が生涯学習課的な事業展開をしており、情報整理の必要性は感じているところである。現在、同種事業の統合や、事業の開催日等の交通整理などを行うために動いている最中である。 なお、国や県の情報については、生涯学習関連の部局で実施する事業の情報はある程度収集できるが、経済部などの他部局の情報となると、収集が困難であり課題である。

山田委員	情報収集が困難な場合もあると思うが、より広域な情報収集をするためのアンテナが必要である。
阿部委員	平成21年度社会教育・生涯学習事業の進捗状況について説明を受けたが、公民館事業やPTA、青少年教育などに関する取り組みの説明がなく、事業が欠落しているのではないか。
金子課長	平成21年度第1回会議において、公民館、子育て支援課、育成センターなどから事業概要の説明をしているが、今回は中間であることから生涯学習課の事業のみの進捗状況の説明とさせていただいた。
廣川議長	それでは、(2)「平成22年度社会教育・生涯学習事業について」事務局より説明を願いたい。
小林係長	今後、新たに取り組みたいと考えている2事業について説明するので、意見をいただきたい。 1つ目が「(仮称)さんじょう市民カレッジ」について、現在、行政や各種団体が中心となって生涯学習事業を展開しているが、個人が培った知識を地域社会に還元する知の循環を推進するための一助となる事業として考えており、市民が自主企画・運営する事業である。 2つ目が「さんじょうまなび手帳」について、報道や広報等を通じ、平成21年9月1日より周知・実施している事業であるが、対象事業へ参加することで、手帳に単位認定がされていく仕組みとなっており、市民のまなびに対する意識向上を図るものである。開始から2カ月が経過しており、社会教育委員への説明が遅くなってしまい申し訳ないが、本日意見をいただき、平成22年度に向けて更に充実すべく検討していきたい。なお、書面で「認定事業」となっている部分については、「対象事業」という形で読み替えていただきたい。
廣川議長	説明を受けて意見等あれば発言願いたい。
阿部委員	「さんじょうまなび手帳」について、実施前に情報を頂きたかった。また、手帳は全世帯へ配布されたのか。
金子課長	生涯学習推進会議で提案された事業であり、情報が遅くなり申し訳なかった。手帳の配布については全戸配布ではなく公民館等への設置で対応している。
山田委員	「さんじょうまなび手帳」について、市の事業だけでなく各種団体が実施する事業を申請することで、対象事業として認めてもらえるのか。また、有償でもよいが手帳にカバーをつけてはどうか。
近藤補佐	対象事業について、各種団体が実施している事業は幅が広く、線引きが難しいため、市の事業のみを対象としてスタートさせていただいた。
金子課長	新潟県で実施している「県民カレッジ」についても、対象事業を公的機

	<p>関に限っている。各種団体が実施する事業を対象とするには、年度当初に事業の吸い上げをする必要があり、実務面でも様々な問題があるため、今後の課題としたい。</p>
廣川議長	<p>今出た意見について、検討して頂きたい。 それでは、(3)「その他」について何かあればお願いしたい。</p>
横山副議長	<p>行政と社会教育委員との更なる情報の共有を図るにあたり、現行実施している年間3回の会議のほか、書面会議等の実施を検討していただきたい。</p>
廣川議長	<p>事務局は更なる情報の共有化について十分検討していただきたい。他に何かあればお願いしたい。</p>
横山副議長	<p>&lt;中越地区社会教育委員連絡協議会からの事務連絡について説明&gt;</p>
近藤補佐	<p>&lt;12月に行われる各種事業について資料により情報提供&gt;</p>
山田委員	<p>社会教育研究大会等について、その年度や大会によって国旗掲揚や君が代斉唱の実施がまちまちであり、中越地区社会教育委員連絡協議会の中で統一的な見解を出していただきたい。</p>
横山副議長	<p>非常にデリケートな問題である。次回の協議会の会議で伝えたい。</p>
廣川議長	<p>全体を通して質疑等あれば発言願いたい。 無いようなので、以上をもって第2回社会教育委員会議を終了する。長時間にわたる熱心な議論に感謝する。</p>

21:00閉会